

♪ 2021年度 **poco a poco** ♪

Nr. 10 2021年8月23日(月)

文責:プファイル・辰巳

## 2学期のスタートです!

4週間の夏休み、元気に、そして有意義に過ごせましたか?  
 今年のドイツの夏は涼しかったですね。雨の日が多く、ドイツ各地で洪水が発生し、甚大な被害が出ました。大切な命もたくさん失われ、ご冥福を祈りたいものです。一方ギリシアやイタリア、トルコその他の地域では大干ばつとなり、山火事の被害が出ました。天災は昔から起こってきましたが、昨今の世界のニュースを見聞きしていると、やはり地球温暖化について一人一人がもっと真剣に考える時期が来ているように思います。



「コロナ感染者数の増加」も気になるどころです。秋、冬に向かっての動向が心配です。マスク着用や手洗い・うがいなどの対策は、まだまだ続きそうですね。2学期も通常授業が続けられるように、みんなでルールを守って健康に過ごしましょう!

### 授業準備 OK ?

#### ～音楽の授業の持ち物～

- ・小学部1・2年生 : 教科書, ファイル, ふでばこ, 鍵盤ハーモニカ (教室移動のための音楽バッグもあると便利です。)
- ・小学部3年生以上 : 教科書, ファイル, ふでばこ, ソプラノリコーダー  
※鍵盤ハーモニカは必要に応じて
- ・中学部 : 教科書, 器楽の教科書, ファイル, ふでばこ, アルトリコーダー

## 音楽こぼれ話 <楽譜出版のお話 ⑧>

音楽の都: ウィーンの老舗

### Musikverlag Doblinger>

モーツァルトやベートーヴェン、ブラームスなど数々の大作曲家が暮らした町、ウィーン。オペラ座、楽友会ホール、フィガロハウス、ベートーヴェンハウスなど、クラシック音楽好きなら一度は訪れてみたい場所が数限りなくある町、ウィーン。正に“音楽の都”ですね。

そのウィーン旧市街の真ん中には有名なシュテファン教会があり、そこからオペラ座に向かう途中の横丁、Dorotheergasse 10番地に、Doblinger という楽譜屋さんがあります。この通りには1939年創業以来、芸術家たちの集う場所として有名になったカフェ・ハヴェルカも軒を連ねています。

Doblinger はウィーン音楽界を支える屋台骨の一つとして100年以上の歴史を誇る楽譜出版社であり、同名の楽譜店も経営しています。1876年にルードヴィヒ・ドブリングーが楽譜貸し出しや古楽譜販売を扱う店として立ち上げ、ベルンハルト・ヘルツマンスキー(父)がこれを買収、ドブリングーの名前は残して楽譜出版、販売へと業務内容を拡大しました。

ベルンハルト・ヘルツマンスキー(息子)の時代、オーストリアはヒトラーの支配下に置かれ、1938年、ヘルツマンスキーはダッハウ強制収容所に収監されてしまいます。3か月後に解放されたものの、戦争終結まで彼は自分の出版会社に立ち入ることを禁じられていました。1945年からヘルツマンスキーは経営者として返り咲き、ナチスドイツに追われた作曲家たちの作品を積極的に出版しました。

1955年に経営者となったクリスティアン・ヴォルフは、“Diletto Musicale”シリーズとして有名になった古典音楽の出版に1958年から取り組み成功を収めます。バロック音楽に始まり、ハイドンからヨハン・シュトラウス父子に至る時代の作品に重点が置かれたシリーズで、世界中で注目を集めました。現在まで続くこのシリーズは1500作品を超えています。

21世紀に入り、時代の要請に対応すべく最新の印刷技術を取り入れつつも、昔ながらの音楽家同士のネットワークや作曲家と演奏家、そして音楽事務所などとの橋渡しを地道に続ける Doblinger 社は、現在もウィーン音楽界の貴重な柱の一つです。

